

1998年日语能力考1级试题 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022_1998_E5_B9_B4_E6_97_A5_c105_146200.htm 文字?部分 (100点、35分) I 次の文の下をつけたことばは、どのようにみますか。そのみ方をそれぞれの1?2?3?4から一つびなさい。1 (1)の(2)偏りによるビタミン(3)欠乏の(4)症状がられたので、食生活の(5)改善を指した。(1) 1 えいゆう 2 えいよう 3 えんゆう 4 えんよう (2)偏り 1 さわり 2 へんり 3 かたより 4 とどこおり (3)欠乏 1 けっびん 2 けっぼう 3 けつびん 4 けつぼう (4)症状 1 せじょう 2 せいじょう 3 しょじょう 4 しょうじょう (5)改善 1 かいぜん 2 かいせん 3 こうぜん 4 こうせん 2 (1)的な文化の(2)をこえて(3)物事を考えるのはむずかしいにとだ。(1)的な 1 てんとうてきな 2 てんどうてきな 3 でんとうてきな 4 でんどうてきな (2) 1 いき 2 すい 3 せん 4 わく (3)物事 1 ものごと 2 もつごと 3 もつじ 4 ぶつじ 3 田中さんは、オリンピックの手を(1)志して、小さいころからコチについて(2)技を(3)磨いてきた。(1)志して 1 しして 2 めざして 3 もたらして 4 こころざして (2)技 1 うで 2 えだ 3 すべ 4 わざ (3)磨いて 1 くだいて 2 みがいて 3 はいて 4 ふいて 4 会の(1)存について(2)冒から激しいがかわされたが、司会者のてぎわがよく、会は(3)滑にみ、(4)折衷案ながらもが出せた。(1)存 1 さいぞく 2 ざいぞく 3 そんぞく 4 ぞんぞく (2)冒 1 ぼっとう 2 ぼうとう 3 ぼくず 4 ぼうず (3)滑 1 えんかつ 2 えんきつ 3 えんけつ 4 えんこつ (4)折衷 1 せっすい 2 せっそく 3 せっちゅう 4 せっちょう II 次の文の下をつけた言は、ひらがなでどうきますか。同じひ

らがなでく言を、1?2?3?4から一つびなさい。(1) この商店街には、人がおおぜいい物に来る。1展2晴天3原典4焦点(2) 丘陵を切りいて住宅地にした。1休憩2急流3殿4料(3) これまでのを明した。1行2敬意3後期4(4) 富豪だからといって、しあわせだとはかぎらない。1不幸2布告3符号4(5) ここでの朝の起床は6だ。1象2重3寄4造III 次の文の下をつけた言は、どのような字をきますか。その字をそれぞれの1?2?3?4から一つびなさい。1彼は(1)とくはいんとしてニュースを正しく(2)ほうどうすることに(3)しめいかんを持っている。(1)とくはいん1特波2特派3督波4督派(2)ほうどう1放道2放3道4(3)しめいかん1使命感2使命3死命感4死命2ゆうべのコンサトでは、ピアノの(1)えんそうに合わせての(2)ろうどくをするという新しい(3)こころみが行われた。(1)えんそう1演泰2演奏3演奉4演秦(2)ろうどく1朗2郎3浪4狼(3)こころみ1み2み3み4み3生活のリズムが(1)くるって、(2)まんせいの(3)すいみん不足になってしまった。(1)くるって1狂って2乱って3惑って4迷って(2)まんせい1性2性3慢性4漫性(3)すいみん1衰眠2遂眠3眠4睡眠4高化に伴う(1)かそかと活の停滞との(2)あくじゅんかんから(3)だっすることが、人々の(4)せつじつないとなっている。(1)かそか1加粗化2加化3粗化4化(2)あくじゅんかん123循4循(3)だっする1脱する2する3する4する(4)せつじつな1切な2接な3な4な5副社はライバル会社との(1)がっぺいに(2)きょうこうに反した。(1)がっぺい1合2合3合4合(2)きょうこうに1行に2攻に3抗に4硬にIV 次の文の下をつけた言の二重()の部分は、どのような字をきますか。

同じ字を使うものを、1?2?3?4から一つびなさい。(1) 暑いので、れいぼうをつけた。1 虫のよぼうには、よくをみがくことが大切です。2 ぶんぼうぐやでノトとをとった。3 日たぼうな日々をごしている。4 ねぼうして、刻しそうになった。(2) 何かがつきがけますか。1 新しいきかくを提案した。2 今日はきろくてきな暑さだった。3 きかいがあったら、北海道へ行ってみたい。4 友だちはきようにセタをみあげた。(3) 大臣は害のをしさつした。1 住民たちとのでまさつがえない。2 この映画は海外でさつえいしたそうだ。3 しんさつしつに入ってください。4 いんさつ技がした。(4) 客におうせつしつで待ってもらった。1 おうふく切符をう。2 サッカのおうえんをする。3 太平洋をヨットでおうだんする。4 おうべいの外交史を研究している。(5) 空がかんそうしている。1 新しいかんでんちをテプレコダに入れた。2 このかんばんは大きいので、くからでも目立つ。3 しんかんせんで京都へ行った。4 かんきょうについてす。V 次の文のの部分に入れるのに最も当なものを、1?2?3?4から一つびなさい。(1) 今日は秋らしい、いい天だ。1 いかにも 2 つとめて 3 とかく 4 まるで(2) 小さな子が一人で留守番をするなんて、さぞことだろう。1 うっとうしい 2 こころぼそい 3 なさけない 4 ものたりない(3) うちのは、入り口が狭くてが入れにくい。1 ガレジ 2 スタジオ 3 ステジ 4 フロント(4) テレビ番の表が差的だったので、さっそく放送局にした。1 2 3 抗 4 物(5) あの人はおとなしそうにえるが、することがでびっくりさせられる。1 盛大 2 膨大 3 大体 4 大胆(6) 年をとると、だんだん新しい考え方がにくくなる。1 うけあい 2 うけい

れ3うけとり4うけもち(7)博士がそれまでの常をくつがえすをのほ、今から20年前のことだ。1かなえた2かまえた3となえた4とらえた(8)あの人は口がから、秘密をもらしたりしません。1おもい2かたい3きつい4つよい(9)有利な言をしてくれとたのんだが、ことわられた。1がっくりと2きっかりと3きっぱりと4くっきりと(10)自分の仕事をするのがやっとな、とても人の手助けをするなどない。1たるみ2なさけ3のぞみ4ゆとり(11)この手はが足りないので、いつも最後にけてしまう。1はげみ2はずみ3ねばり4むすび(12)高者の人口が急にえて、お年寄りを介する人材のがに合わない。1生育2成熟3生4成(13)事件を解するため、を探しているところだ。1めど2きざし3しかけ4てがかり(14)母は病のせいで食べるものにいろいろがある。1拘束2制限3束4制(15)争が、市民の生活に落ち着きがもどった。1おさまり2さだまり3まとまり4よわまり

VI次の(1)から(10)のの言の意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1?2?3?4から一つびなさい。

(1) ふく……ずっと活していなかった火山が突然火をふいた。1 このでは、冬のあいだ海からい北がふく。2 だれかがふえをふいている。3 おがわいて、やかんがさかんにをふいている。4 スプがくて、フフふいてさました。

(2) あげる……例をあげてていねいに明した。1 自分の考えを主するなら、根をあげるべきだ。2 能率をあげないと、に合いそうにない。3 感のあまり、声をあげて泣いた。4 努力して、素晴らしい成果をあげた。

(3) あかるい……日本立て直しの通いま、あまりあかるくない。1 山田さんは、物理の先生

だが文学にもあかるい。2 解について、思ったよりあかるい展望がひらけてきた。3 あかるい黄色が、暗い背景によくはえる。4 いいしらせをえるときは、声もあかるくなる。(4) あと……せなかにやけどのあとが残っている。1 入学まで、あとわずかとなった。2 このの事故があとをたなくて、警察でも困っている。3 この作文は何回もき直したあとがある。4 は山本君の2か月あとに入会した。(5) あたり……果が出るのは来月あたりになるらしい。1 中山さんは人あたりがいいので、友だちがおおい。2 一人あたり8000で日りのバス旅行ができる。3 この映画がこんなにあたりを取るとは思わなかった。4 あの会社との交は、木君あたりが当だと思う。(6) はしる……彼はおだやかな人柄で、端な言にはしることはない。1 い痛みが右の肩にはしった。2 この年ごろの少年は、ちょっとしたきっかけで非行にはしる。3 届いたばかりの新をためしにはしらせてみた。4 平野の真ん中を国道が西にはしっている。(7) とく……道路工事がわり、交通制がとかれた。1 ホテルについて荷物をといた。2 父の解をとくのはむずかしい。3 もう安全だと判断して警戒をといた。4 このは水でといてんでください。(8) かるい……かるいけがでんで、本当にがよかった。1 寝る前に、かるいをするとよく眠れる。2 ぶじに任をはたして、持ちがかるくなった。3 あの人のきのかるいのには、く。4 よりかるい素材の研究を行っている。(9) め……この作品のがわかるとは、林さんもめが高い。1 うっかりして「禁止」のがめに入らなかった。2 このセタはめがあらくてすぐ引かかる。3 ぎにきまれて、ひどいめにあった。4 社は人をる

めがある。(10) あそぶ……これだけの土地をあそばせておくとはもったいない。1 コンピュータを使って仕事をしているのかと思ったら、あそんでいた。2 物の中であそぶのは人だけだといわれていた。3 子供を通りであそばせるとあぶない。4 使いこなせる人がいなくて、せっかくの械があそんでいる。正解 I 1 : (1)2 (2)3 (3)4 (4)4 (5)1 2 : (1)3 (2)4 (3)1 3 : (1)4 (2)4 (3)2 4 : (1)3 (2)2 (3)1 (4)3 II (1)4 (2)4 (3)2 (4)3 (5)1 III 1 : (1)2 (2)3 (3)1 2 : (1)2 (2)1 (3)2 3 : (1)1 (2)3 (3)4 4 : (1)4 (2)3 (3)1 (4)1 5 : (1)3 (2)4 IV (1)2 (2)4 (3)3 (4)2 (5)1 V (1)1 (2)2 (3)1 (4)3 (5)4 (6)2 (7)3 (8)2 (9)3 (10)4 (11)3 (12)4 (13)4 (14)2 (15)1 VI (1)3 (2)1 (3)2 (4)3 (5)4 (6)2 (7)3 (8)1 (9)4 (10)4 解? 文法 (200点、90分) I 次の文章をんで、後のいに答えなさい。答えは、1?2?3?4から最も当なものを一つびなさい。川に上流と下流があるように、われわれのくらしにも上流(アップストリム)と下流(ダウンストリム)がある。栓をひねると出てくる水の来るところは上流であり、流しにてた水の行く先は下流である。米、肉、、野菜、、ガス、石油、こういったくらしに必要なものを供するところが上流であり、台所で出る野菜くず、便所の屎(し)尿(によ)う)、こういった邪魔物をほうり出すところが下流である。①われわれは、例外なく、下流より上流の方をにする。上流がれ、乱れると、水や食べ物がまずくなり、危なくなり、くらしのしみがり、からだがつけられやすくなるからである。上流にくらべて、下流にする心はゼロといってよいくらいいうすい。目の前においておくと嫌なものを、えないところ、いところに持っていくだけで、もう、すっかりそ

の存在さえ忘れてしまう。(②)自家用をしている人は、な分で行者や自族に排ガスを吹きつけているのだが、そのことを意している人はほとんどいない。これなど下流にする心の典型である。それでも、昔、ずっと昔だと、上流と下流は、方ともくらしのすぐそばに一にあって、(だれ)の目にもその子がよくえていた。食べる肉がつい一(いっ)刻(こく)前(注1)までは庭を走りまわっていた(にわとり)であったり、野菜くずが庭のすみの穴に埋められ、しばらく後で堆(たい)肥(ひ)(注2)になりに使われるといったことが、ありふれた景であった。この当だと、上流は自然と自分でしていることになったし、自分は下流に心がないといっても、少なくとも家族の中の一人がそれを始末していることは目にしていた。だから、③直接手をつけなかったとしても、下流の状は、まちがいなくみんなが知っていた。④上流と下流が方ともそばにあるということは、自分の生活の上流が他人の生活の下流であるということである。それはまた、自分の下流が他人の上流であることでもあった。だから、そういう代、人は(⑤)生活をしていた。み水を汲(く)む流れのすぐ上でおしめ(注3)を洗うことは、いくら田でもつつしまれていたし、食べ(ごろ)の野菜に下(しも)肥(ごえ)(注4)をまくことは、にしなかった。お互いにそのような知をかきあって、人は生活を作っていた。ところがやがて、都(ま)市(ち)と(む)村(ら)がわかれてきた。そして都市では、上流と下流がえにくくなってきた。それは都市生活の一つの大きな特だった。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com